



半田病院だより

195号

Handa byouin
dayori

IQon Spectral CT



GCA-9300R

「IQon Spectral CT」を導入しました!

放射線技師 鳴海 樹

当院では2021年6月より世界で唯一の2層検出器を搭載したフィリップス社製CT「IQon Spectral CT」を導入致しました（愛知県内2台目）。

IQon Spectral CTは、従来の白黒画像だけではなく、病態を明瞭に描出できるコントラスト強調画像（カラー画像など）を出力することで、より多くの情報を持った検査を実施することができます。さらに造影剤を使用した検査では、造影剤の量を最大70%の減量（従来比）が可能となり、被ばくの低減や息止め時間の短縮とともに患者様の負担を抑えることも可能となりました。

近年の悪性腫瘍罹患率は増加傾向にあり、治癒をするためには「早期発見」が重要と言われております。数多くある検査の中でCTは第一選択になることが多く、「いかに早くCT検査で詳細な診断ができるか」が、今後の診療方針の決定、負担の少ない治療に繋がると言っても過言ではありません。

このIQon Spectral CTでは、「早期発見」に役立つ機能を多数搭載しており、今までにはない最新の画像を提供いたします。

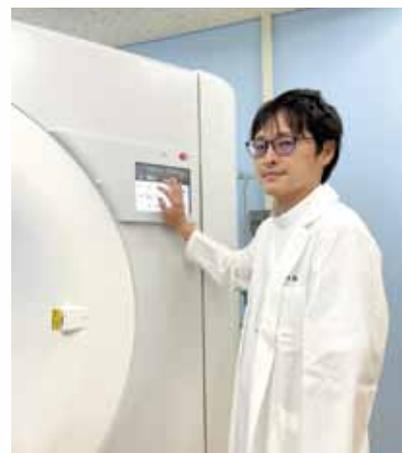
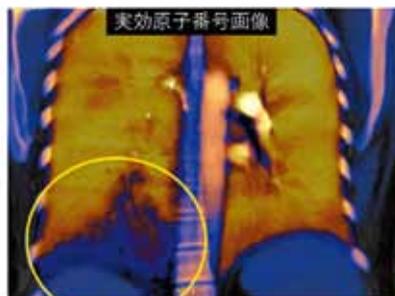
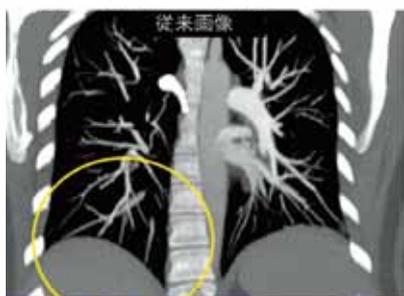


2層検出器

検出器とは人体を透過したX線を受ける部分で、これを2種類重ねてあることから「2層検出器」と呼ばれます。従来の1層のものに比べて2倍の情報量が得られます。

新型装置のメリット

- 今までにない様々なコントラスト画像による画像診断
- ヨード造影剤量の最大70%低減の検査が可能
- CT検査による被ばくの低減（最適化）



アイソトープ検査とは

放射線技師 岡戸 安由美

アイソトープ検査とはラジオアイソトープ（放射性同位元素）を使用して様々な臓器の機能を調べる検査のことです。放射性同位元素とは放射線を放出する元素の事であり、この元素を特定の臓器に集まるような状態にして検査で使用します。検査の種類によって使う放射性同位元素は異なり、その検査に応じた放射性同位元素を使用します。

おおまかな検査の流れとしては、放射性同位元素を体内に投与する→数時間後に装置で撮影（臓器に集まった放射

性同位元素から出る放射線をカメラで感知する）→その放射性同位元素の分布を調べ、画像化することによって臓器の機能がわかる。という流れになってきます。

体内から放射線が出ているので患者さん自身はもちろん、近くにいる人も被ばくします。しかしいつまでも放射線が出続けることはなく、放射性同位元素ごとに決まっている半減期（放射線が半分に減る時間）に応じて出る放射線の量は減っていきます。また、投与できる放射性同位元素の量は体に害が生じないように量が決められており、今年度から導入した線量管理システムによってどの患者さんにどのくらいの量を投与したのか管理体制がより厳重になったので安心して検査を受けることができます。



新たに導入された装置について

6月に導入されたアイソトープ検査装置「GCA-9300R」は、放射線を感知するカメラの性能が上がっており、検査時間を短くすることや、投与する放射性同位元素の量を減らすことが可能です。よって今までよりも患者さんの負担を減らし、かつきれいな画像を提供することができます。

特に心臓や頭の血流を調べることに優れた装置であり、従来の装置よりもより正確な画像や血流の値を算出できます。よって心臓や頭の病気で手術や治療を予定している患者さんの治療に役立つ情報を提供できると期待しています。この装置が導入されたことによって少しでも患者さんに有益な情報が提供出来るように、私たち技師も日々勉強をして知識を増やし精進してまいります。



新任医師 紹介

4月からの新メンバーを紹介します。

泌尿器科

宮田 裕大

4月より半田病院で働くことになりました。泌尿器科を専門にしています。不慣れな点多いと思いますが、よろしくお願い致します。



産婦人科

永井 孝

このたび、県立多治見病院から赴任となりました。この地域の医療に貢献できるようにがんばりたいと思います。よろしくお願い致します。



循環器内科

近藤 俊

知多半島の循環器診療に貢献できるよう精進致します。よろしくお願い致します。



腎臓内科

加藤 彰寿

4月より春日井市民病院より赴任しました。知多半島の腎臓病医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



糖尿病・内分泌内科

水谷 圭吾

4月より名古屋第一赤十字病院より、半田病院へ赴任させていただいております。地域の皆さんのお力に少しでもなれるよう努めますので、どうぞよろしくお願い致します。



外科

竹内 健司

八千代病院から赴任しました外科の竹内と申します。同じ名字の方が多く間違えられることもありますが、覚えてもらえるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



外科

長田 祥子

豊田厚生病院より赴任しました長田祥子です。半年間の勤務ですが半田市の医療に貢献できるよう努めますので、よろしくお願い致します。



循環器内科

野々川 大志

4月より半田病院に赴任となりました循環器内科の野々川です。よろしくお願い致します。



糖尿病・内分泌内科

榎原 康喜

4月より赴任しました糖尿病・内分泌内科の榎原康喜と申します。糖尿病や内分泌疾患でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら是非ご相談ください。



産婦人科

重山 宗久

4月より半田病院に赴任となりました産婦人科の重山宗久と申します。よろしくお願い致します。



消化器内科

岩田 有里波

岡崎市民病院より半年間こちらに赴任することとなりました。これまで半田から岡崎に来ていただいた先生方より半田の魅力は伺っておりますが、私自身も実感できることを楽しみにしております。



内科

竹内 俊太

医師4年目の竹内俊太と申します。よろしくお願い致します。半田の医療を支える一員となれるよう精進致します。



産婦人科

前島 貴子

私は3人の子育てをし、医師になることができました。喜びも悲しみも全て患者さんと共に味わい、診断・治療に全力を尽くしていきたいです。





半田病院は臨床研修指定病院です



臨

臨床研修指定病院とは、研修医が卒後2年間、基本的な手技、知識を身につけるため籍を置く、つまり経験を積む、腕を磨く場を提供する病院です。当院も国から臨床研修指定病院として認定を受け、次世代の医師を育成する役割を担っております。現在、当院には17名の研修医が在籍しており、一人前の医師になるため、そして地域の皆様が安心して受診できる医師となるため、日々研修に励んでいます。

研修医のみでなく、新人看護職員も1年間の教育プログラムに沿った教育を受けています。研修医同様に、安全・安心な看護を提供するため日々切磋琢磨して学んでいます。



また、地域社会に貢献できる医療人を育成するため、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、理学・作業療法士、言語聴覚士、臨床工学技士、栄養士など、さまざまな医療職を目指す学生の臨地実習を受け入れています。これからの地域医療を担う若い世代の

研修の機会として、救命救急センターや外来・病棟などにおいてかかわらせていただくことがあります。ご理解・ご協力をお願いいたします。



ペット型ロボット誕生!

4月14日に
ペット型ロボットが
7B病棟に
来ました

7B病棟 都築 久美子

高齢患者さんが多く入院する7B病棟にロボット犬の「ポチ」が仲間入りし、入院生活を少しでも穏やかにそして楽しく過ごせるようにサポートします。「ポチ」と名前を呼ぶと反応し喜び、愛らしくラジオ体操やダンスを踊ってくれます。今後ますます進化し、患者さんに愛されそしてまわりを笑顔で包んでくれると思います。

病院だより 新病院コラム その5

管理課 青木 賢治

おかげ様で、今年3月までに新病院の基本設計を策定することができました。

現在、半田病院では、そこで作成した建物の外観図や内観図(パース)、実際の5mの長さを1cmに縮小した500分の1スケールの模型を、1階ロビーから外来診療棟に向かう場所(自動精算機の隣)に展示しています。

ご来院されたときには、ぜひご覧いただきたいと思います。



また、半田病院は、毎週日曜日には新型コロナワクチンの集団接種会場となっておりますが、ワクチン接種後の経過観察の時間を利用して、新病院のイメージ動画をご覧いただいています。

今後は、平日の診療時間帯にもご覧いただけるようにしていきたいと思います。

最後になりましたが、基本設計案に対してのご意見をいただく「パブリックコメント」では、20件のご意見をいただきました。大変ありがとうございました。

これから進めていく実施設計では、今回のパブリックコメントなど、皆様からいただいたご意見なども取り入れながら設計を進めてまいります。

皆さん、お楽しみに!!

半田市立半田病院 広報部会 (事務局 管理課)

〒475-8599 半田市東洋町2-29 ☎(0569)22-9881 FAX(0569)24-3253
Eメール byouin@city.handa.lg.jp URL <https://www.handa-hosp.jp>

